

宮崎県埋蔵文化財センター年報



2026

序

本書は、宮崎県埋蔵文化財センターの概要と令和7年度に実施した諸事業についてまとめたものです。

当センターは、本年度で宮崎県総合博物館から分離独立して30年目の節目の年を迎えました。この間、国・県・西日本高速道路株式会社等の各種開発事業に伴う数多くの発掘調査の実施や、未指定の重要遺跡の分布調査及びその保護に向けた取り組み、さらには発掘調査に伴って出土した遺物の整理、保管を行ってきました。加えて、県民の皆様の郷土理解に資するためテーマ展示や出前展示、報告会等を開催するなど、埋蔵文化財の保護と活用、教育普及活動に注力してきたところです。

令和7年度の主な事業としては、国道10号住吉道路建設事業に伴う1遺跡の発掘調査を実施するとともに、令和6年度に発掘調査を終了した2遺跡についての整理作業を行い、『西南戦争関連遺跡調査・活用事業成果報告書』を含む3冊の報告書を刊行しました。発掘調査を行った遺跡では現地説明会を開催し、関係者や地域の方に現地を見ていただくなど、調査の成果を広く還元することができました。

また、教育普及事業においては、遺物の展示や体験講座を行う移動展示会を諸塚村で開催し、地域の方が自らの郷土に対して深い愛着や誇りを抱くきっかけを提供できたものと考えております。あわせて、毎年開催している施設公開や埋文講座においても、最新の成果を取り入れ、埋蔵文化財への理解の一助となるよう努めたところです。

当センターは今後も職員が一丸となって業務に邁進してまいりますので、関係各位の御理解と御協力をお願いいたします。

令和8年5月

宮崎県埋蔵文化財センター
所長 山田 真也

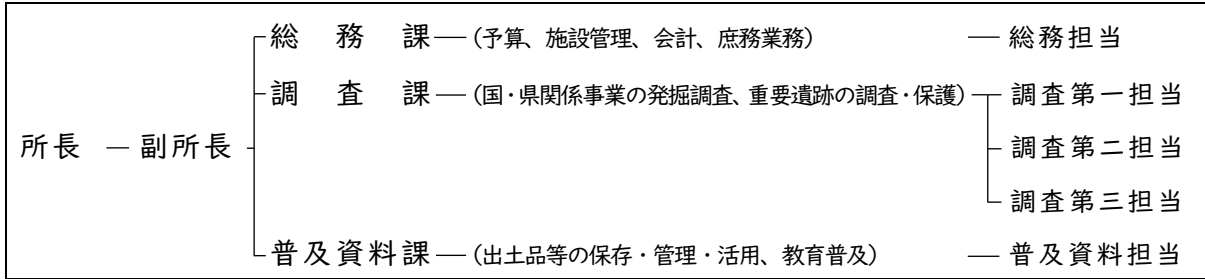
目次

I	組織・施設	1
1	組織	1
2	施設	2
II	宮崎県埋蔵文化財センターの沿革	3
III	令和7年度の活動状況	5
1	埋蔵文化財記録保存のための発掘調査	5
(1)	発掘調査	5
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	5
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	6
(4)	近代宮崎の出発点 西南戦争関連遺跡調査・活用事業（文化庁補助事業）	6
(5)	保存処理	7
(6)	収蔵整理	7
2	教育普及活動	8
(1)	移動展示会「触れて学ぶ ふるさとの遺跡再発見」（文化庁補助事業）	8
(2)	埋文講座	9
(3)	埋文センター施設公開・体験講座	9
(4)	遺跡発掘成果展	10
(5)	分館テーマ展示	10
(6)	出前展示	10
(7)	出前講座	11
(8)	現地説明会・インターンシップ・職場体験の受け入れ	13
(9)	見学・研修等で分館を訪れた団体	13
(10)	資料等の提供	14
(11)	職員派遣	17
(12)	埋蔵文化財担当専門職員研修会	18
(13)	広報出版物	18
(14)	研究紀要	18
(15)	ホームページ・SNS	19
3	会議・職員研修	19
(1)	各種会議等への参加	19
(2)	共同研究への参加	20
(3)	先進地調査	20
(4)	労働安全衛生関係の講習会等への参加	20
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	21

I 組織・施設

1 組織

(令和8年4月1日現在)



所長	山田 真也	○調査第二担当 (担当リーダー)	
副所長	松林 豊樹	主 幹	堀田 孝博
総務課		主 査	橋本 英俊
課長	津田 左知	(高速道対策局・併)	
(兼総務担当リーダー)		主 査	加藤 徹
○総務担当		(高速道対策局・併)	
専門主幹	加塩 美昭	主 査	吉田 博喜
		(高速道対策局・併)	
主 事	前田 和穂	主 査	小川 雄太郎
主 事	小川 優	○調査第三担当 (担当リーダー)	
(会計年度任用職員)		副主幹	二宮 満夫
業務支援員	草野 幸子	主 査	中島 寛
		主 事	住吉 太郎
調査課		普及資料課	
課長	日高 広人	課長	高橋 浩子
○調査第一担当 (担当リーダー)		○普及資料担当 (担当リーダー)	
副主幹	藤木 聡	主 幹	平井 祥蔵
専任主幹	松田 清孝	主 査	後藤 清隆
主 査	今村 陽一	主 査	黒田 智人
主 査	木村 哲弥	(会計年度任用職員)	
主 事	池上 愛菜	埋蔵文化財整理専門員	貴嶋 活実
(会計年度任用職員)		埋蔵文化財整理作業員	松羅 紀子
埋蔵文化財整理作業員	鈴木 律子		

2 施設

(1)本館（宮崎市佐土原町下那珂4019番地）

本館 2,656.50 m²

①管理棟・調査研究棟（鉄筋コンクリート造一部木造平屋建）1,745.99 m²

事務室	57.76 m ²	所長室	19.86 m ²
情報処理室	33.17 m ²	会議室	78.52 m ²
休憩室	78.52 m ²	調査研究室	248.55 m ²
復元整理室	293.44 m ²	一次処理室	96.81 m ²
図面整理室	61.62 m ²	写場	64.20 m ²
暗室	12.65 m ²	一次保管室（2層）	188.00 m ²
図書室（2層）	193.88 m ²	荷捌室	43.01 m ²
その他	276.00 m ²		

②整理作業棟（収蔵庫）（鉄骨造）216.76 m²

③収蔵庫棟（鉄骨造）693.75 m²

(2)分館（宮崎市神宮2丁目4番4号）

分館（鉄筋コンクリート造2階建） 1,652.38 m²

1階 877.58 m²

一次処理室	121.20 m ²	復元整理室	148.30 m ²
保存処理室	49.30 m ²	研修室	143.20 m ²
（鉄器	22.70 m ² ）	事務室	41.80 m ²
（木器	26.60 m ² ）	展示室	150.00 m ²
器材庫	11.00 m ²	エントランスホール他	212.78 m ²

2階 774.80 m²

写場・暗室	49.30 m ²	写真保管室	35.10 m ²
図面保管室	53.10 m ²	収蔵整理室	19.30 m ²
収蔵室	564.00 m ²	特別収蔵室	54.00 m ²

II 宮崎県埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事項
1980	昭 55	「埋蔵文化財センター建設計画」立案。
1981	56	基本設計を実施。
1982	57.1.9 7.29 10.2	起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長 吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」 （講師：国立民族学博物館教授 佐々木高明）
1983	58.4.1	センター長 細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59.4.1	（茂山護転出、菅付和樹転入）
1985	60.11.2	文化財保護強調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61.4.1 61.7	センター長 久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62.3 62.4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群-遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63.3 63.4.1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行。 センター長 長友巖発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平 1.4.1	センター長 石井祥博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2.3 4.1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳-遺物編」刊行。 兼務職員13名となる。
1991	3.3 4.1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡-資料編I」刊行。 センター長 木幡文夫発令。設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4.4.1	センター長 藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82~'91」を開催する。 脱塩装置、赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5.4.1 9.15	センター長 後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設。
1994	6.3.8	特別収蔵庫設置。
1995	7.1.29 2.16 4.1	一般収蔵庫増設工事完成。 屋根防水工事完了。 センター長 関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8.4.1	宮崎県埋蔵文化財センターとして宮崎県総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第一係、第二係、教育普及係（第二係兼務）を置く。 所長 藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第一係（東九州自動車道担当）を置く。
1997	9.3.17 4.1	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。 職員37名、嘱託7名となる。
1998	10.4.1	所長 田中守発令。職員39名、嘱託8名となる。
1999	11.4.1	職員42名、嘱託8名となる。
2000	12.1.20 4.1	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。 所長 矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。職員52名、非常勤職員12名となる。分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成。

西暦	年月日	事 項
2001	13.4.1 7.1	職員 59 名、非常勤職員 16 名となる。 調査第一課調査研究室設置。
2002	14.4.1	所長 米良弘康発令。職員 63 名、非常勤職員 17 名となる。
2003	15.4.1	職員 64 名、非常勤職員 15 名となる。
2004	16.4.1	所長 宮園淳一発令。職員 62 名（うち任期付き職員 13 名）、非常勤職員 12 名となる。 収蔵庫用に旧繭検定工場を農政企画課から所管換え。
2005	17.3.8 4.1 8.18 11.6	収蔵第一期工事完成。 職員 61 名（うち任期付き職員 19 名）、非常勤職員 9 名となる。 収蔵第二期工事完成。 調査第一課整理棟の設置。（東畦原整理作業棟撤去に伴い貸借開始）
2006	18.4.1	所長 清野勉発令。職員 64 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 8 名となる。
2007	19.4.1	職員 64 名（うち任期付き職員 19 名）、非常勤職員 3 名となる。
2008	20.4.1	所長 福永展幸発令。職員 61 名（うち任期付き職員 16 名）、非常勤職員 2 名となる。 調査第一課整理棟撤去。
2009	21.4.1	職員 59 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 1 名となる。
2010	22.4.1	所長 森隆茂発令。職員 62 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 1 名となる。
2011	23.4.1	職員 53 名（うち任期付き職員 15 名）、非常勤職員 1 名となる。
2012	24.4.1	所長 北郷泰道発令。職員 42 名（うち任期付き職員 7 名）、非常勤職員 1 名となる。10 月より東日本大震災復興支援で宮城県へ松本茂を派遣。
2013	25.4.1 10.12 ~12.8	所長 向井大蔵発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。引き続き東日本大震災復興支 援で、宮城県へ和田理啓を派遣。 特別展『みやざき発掘 100 年-いにしへの「道」と交流』開催。
2014	26.4.1	所長 岩切隆志発令。職員 28 名、非常勤職員 1 名となる。調査第一課と調査第二課を統 合し、調査課を置く。東日本大震災復興支援で宮城県へ和田理啓を派遣（2 年目）。
2015	27.4.1	東日本大震災復興支援で宮城県へ和田理啓を派遣（3 年目）。本年度で派遣終了。 移動展示会「ふるさと発掘！埋文キャラバン」事業でアウトリーチ活動を展開。 旧調査第一課調査研究室撤去。
2016	28.4.1	所長 谷口武範発令。10 月より非常勤職員 2 名となる。
2017	29.4.1	所長 菅付和樹発令。職員 29 名、非常勤職員 3 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援 で加藤徹を熊本市に派遣。
2018	30.4.1	所長 長嶺勝志発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援 で沖野誠を熊本市に派遣。
2019	31.4.1	所長 山元高光発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援 で沖野誠を熊本市に派遣（2 年目）。
2020	令 2.4.1	職員 31 名、会計年度任用職員 2 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で沖野誠を益城 町に派遣。
2021	3.4.1	所長 菊村祐司発令。職員 31 名、会計年度任用職員 2 名となる。
2022	4.4.1	職員 30 名、会計年度任用職員 3 名となる。
2023	5.2.1 4.1	所長 吉本正典発令。 職員 27 名、会計年度任用職員 3 名となる。
2024	6.4.1	所長 飯田博之発令。職員 26 名、会計年度任用職員 3 名となる。
2025	7.4.1	職員 25 名、会計年度任用職員 4 名となる。
2026	8.4.1	所長 山田真也発令。職員 24 名、会計年度任用職員 4 名となる。

Ⅲ 令和7年度の活動状況

宮崎県埋蔵文化財センター（以下、埋蔵文化財センター）は次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

令和7年度は以下に記載する事業を実施した。

1 埋蔵文化財記録保存のための発掘調査

(1) 発掘調査

国・県事業に伴う発掘調査を実施している。本年度は土器田東横穴群（宮崎市）の1か所で本調査を実施した。

【発掘調査一覧】

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	調査期間	調査担当者	調査原因
			主な遺物	調査面積		
1 土器田東横穴群	宮崎市 佐土原町 下那珂	古墳時代	横穴墓	R7.10.21～R8.2.20 (実調査日数 69日)	小川雄太郎 吉田博喜 留野優兵	国道10号住吉道路建設
			土師器、須恵器、耳環	65㎡		

(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な比較検討を要する遺跡の調査を実施するにあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の研究者を招聘している。また、職員を派遣し、位置づけの明確でない遺構や遺物について調査を行うものである。

【調査指導】

日程	場所（遺跡）	所属・氏名	指導内容
令和7年度は実施せず	-	-	-

【資料調査】

日程	出張先	出張者	目的
令和7年度は実施せず	-	-	-

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査した遺物等の水洗・注記から実測・製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。本年度整理を実施した遺跡は2遺跡で、内訳は高等特別支援学校整備事業1遺跡・新富スマートIC(仮称)建設事業1遺跡である。なお、本年度は整理作業の終了した2遺跡の発掘調査報告書を刊行した。

【出土遺物等整理対象遺跡一覧】

遺跡名	事業名	事業者
1 東畦原第1遺跡	新富スマートIC(仮称)建設事業	NEXCO西日本・宮崎県高鍋土木事務所・新富町
2 城川遺跡	高等特別支援学校整備事業	特別支援教育課

【発掘調査報告書刊行一覧】

No.	遺跡名	副書名	執筆・編集者
1 271	東畦原第1遺跡	新富スマートIC(仮称)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	小山輝晃
2 272	城川遺跡	高等特別支援学校整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	川嶋信平

(4) 近代宮崎の出発点 西南戦争関連遺跡調査・活用事業(文化庁補助事業)

令和5年度から3か年事業で本県の西南戦争(明治10年、1877年)関連遺跡について所在地や現況の把握と、国史跡指定に必要なデータ取得を目的とする確認調査を実施している。また、市町村教育委員会・学校・地域住民との連携により関連遺跡の保存・継承を図るため、遺跡の所在する市町村での展示会や講座を計画する等、教育普及活動も行っている。令和7年度は日之影町高齢者大学(令和7年9月24日)、しんとみ発見学びフロンティア塾(同年11月21日)において地域住民を対象とした出前講座を実施した。

① 西南戦争関連遺跡の悉皆調査

令和7年度は、台場44基、墓・慰霊碑等1基の悉皆調査を行った。

【悉皆調査一覧(台場)】

市町村名	名称	基数	調査担当者
1 延岡市	和田越台場群	35	堀田孝博
2 諸塚村	矢村台場群	5	中島寛
3 高原町	高原城北尾根台場群	4	今村陽一

【悉皆調査一覧(墓・慰霊碑等)】

市町村名	名称	基数	調査担当者
1 宮崎市	桑原新吾之墓	1	堀田孝博 中島寛 今村陽一

②西南戦争関連遺跡の確認調査

令和7年度は、以下の台場等の確認調査を実施した。

【確認調査一覧】

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	調査期間	調査面積	調査担当者
1 陣之尾台場群 10・14・20号	宮崎市高岡町	近代	台場	R7.7.1~R7.10.27 (実調査日数9日)	12㎡	堀田孝博 中島寛 今村陽一

③西南戦争関連遺跡の測量調査

令和7年度は、以下の台場等の測量調査を実施した。

【測量調査一覧】

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	調査期間	調査面積	調査担当者
1 和田越台場群 66号	延岡市大峽町	近代	台場	R7.4.7~R7.4.21 (実調査日数3日)	-	堀田孝博 中島寛 今村陽一

④成果報告書

令和7年度は、以下の成果報告書を刊行した。

No.	報告書名	執筆・編集者
1 273	西南戦争関連遺跡調査・活用事業成果報告書	堀田孝博

(5)保存処理

普及資料課及び調査課では、出土した金属製品や木製品について保存処理を行っている。令和7年度は鉄器ほか35点の処理を行った。

遺跡名	主な器種	保存処理
1 和田越台場群 陣之尾台場群	薬莢、銃弾、銭貨等	土落とし・仮接合まで実施

(6)収蔵整理

①収蔵庫(分館)

分館収蔵庫には登録を完了した遺物や登録作業途中・待機中の遺物を収蔵している。令和7年度は、登録作業によるコンテナ数の圧縮はないが、本館よりコンテナ154箱が分館に移動されたため、登録を完了した遺物と登録待機中の遺物を併せたコンテナ総数が7,382箱となった。

②収蔵庫(本館)

新収蔵庫には主に本館で整理作業の終了した遺物や登録待機遺物を収蔵している。令和7年度はコンテナ86箱を搬入した。また、東九州自動車道関連の調査で出土した礫の整理により300箱が減り、分館への移動(154箱)、都城市・日向市・国富町・川南町・美郷町への引き渡し(83箱)により本館の収蔵量はコンテナ14,627箱となった。

③登録作業

分館における令和7年度の実績は、3遺跡、コンテナ18箱である。本館から移動した遺跡を含め、登録累計308遺跡、登録済みコンテナ6,972箱となった。本館における同年度の実績は、3遺跡、コンテナ86箱であり、登録累計122遺跡、コンテナ4,117箱となった。よって、令和7年度の本館と分館を合わせた登録収蔵総累計は、429遺跡、コンテナ11,089箱である。

④国立大学等から譲渡を受けた資料の整理・活用

令和7年度から、国立大学等から譲渡を受けた資料の整理作業を行っている。令和7年度は、宮崎大学旧蔵の尾立遺跡・狐塚遺跡・下弓田遺跡の整理作業を進めた。

⑤図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。令和7年度は1,535冊の受け入れがあり、合計収蔵数は90,127冊になる。図書管理システムによる図書資料の登録と、バーコードによる貸出・返却管理を行っている。

2 教育普及活動

令和7年度の教育普及事業は、移動展示会「触れて学ぶ ふるさとの遺跡再発見」、埋文講座(年5回)、遺跡発掘成果展「東九州自動車道118遺跡 新富～高鍋編」、施設公開、分館展示のほか、出前講座等のアウトリーチ活動を実施した。令和7年度の分館入館者は5,620名であった。

(1) 移動展示会「触れて学ぶ ふるさとの遺跡再発見」(文化庁補助事業)

埋蔵文化財センターが開発に先立って行った発掘調査の成果を地域に還元するため、地元から出土した遺物を用いて、県内の各地域で移動展示会を行っている。令和7年度は諸塚村で実施し、遺物の展示のほか体験講座や、リーフレット作成などを通して、地元の歴史や文化財に親しむ機会を提供している。

①名称：移動展示会『触れて学ぶ ふるさとの遺跡再発見』

②主催：埋蔵文化財センター

③共催：諸塚村、諸塚村教育委員会

④会場：諸塚村中央公民館

⑤会期：令和7年10月1日(水)～10月23日(木)

⑥関連講座

開催期間中(令和7年10月18日)に諸塚村中央公民館にて、展示資料解説及び各種体験講座(石庖丁アクセサリーづくり、紡錘車体験、土器・石器パズル、石斧体験等)を行った。

⑦観覧者数

総観覧者数：824名（関連講座総参加者数を含む）

関連講座総参加者数：68名



展示会場（1階）



展示会場（2階）



関連講座（各種体験活動）

(2)埋文講座

近年発掘調査報告書を刊行した遺跡の最終成果報告講座及び発掘調査関連講座を年5回（6・8・12・1・3月）分館研修室にて実施した。また、参加者を増やす取り組みとして、SNS等を活用した広報活動やわかりやすい資料の作成等に取り組み、186名の参加者があった。

開催日	講演名	講師	参加者
1 第1回 R7.6.22	「むかし、五ヶ瀬川の訃(ほとり)にて」 田宮遺跡（延岡市）	埋蔵文化財センター 川嶋信平	24名
2 第2回 R7.8.24	「触れる講座 ～縄文時代～」	埋蔵文化財センター 普及資料課	36名
3 第3回 R7.12.21	「西南戦争の戦場を歩く 宮崎の激戦地をたどる」 西南戦争関連遺跡調査・活用事業	埋蔵文化財センター 中島 寛	60名
4 第4回 R8.1.18	「遺跡発掘あれこれ ～宮崎県埋蔵文化財センター30周年を迎えて～」	埋蔵文化財センター 飯田博之	35名
5 第5回 R8.3.15	「圧巻の土器集中空間～学校下50cmの古墳時代集落～」 城川遺跡（宮崎市）	埋蔵文化財センター 川嶋信平	31名

(3)埋文センター施設公開・体験講座

例年、埋蔵文化財センターの事業のPRと埋蔵文化財保護啓発の目的で「施設公開」を開催している。本年度は、文化財保護強調週間中の11月3日（月）に「埋文センターで“ホンモノ”体験」と題して分館において開催した。

【施設公開「埋文センターで“ホンモノ”体験」】

開催日	開催場所	内容	参加者
1 R7.11.3	埋蔵文化財センター分館	バックヤード見学、土器復元体験、発掘疑似体験、石庖丁アクセサリーづくり、ドングリつぶし体験、石斧体験、紡錘車体験、火起こし見学等	350名



紡錘車体験



バックヤード見学(遺物見学)



石庖丁アクセサリーブクリ等

(4)遺跡発掘成果展

埋蔵文化財センターが東九州自動車道の建設に伴い発掘調査を行った遺跡の資料を展示する遺跡発掘成果展「東九州自動車道 118 遺跡 新富～高鍋編」を県立図書館 2 階特別展示室で開催した。また、展示期間中に関連講座（特別講座・ギャラリートーク）を県立図書館 2 階視聴覚室で実施した。

【遺跡発掘成果展・関連講座】

開催日	内容	参加者
1 R8.1.28～R8.2.15	藤山第 1・2 遺跡、向原第 1 遺跡、尾小原遺跡、永牟田第 1・2 遺跡、勘大寺遺跡、西畦原第 1・2 遺跡、東畦原第 1・2・3 遺跡、音明時第 1・2 遺跡、牧内第 1・2 遺跡、小並第 1 遺跡、唐木戸第 1・2・3・4 遺跡、北牛牧第 5 遺跡、下耳切第 3 遺跡、老瀬坂上第 3 遺跡、南中原第 1 遺跡、野首第 1・2 遺跡、崩戸遺跡	843 名
2 R8.2.1	ギャラリートーク：東九州自動車道 118 遺跡 展示解説	27 名

【特別講座】

開催日	内容	参加者
1 R8.2.1	新富～高鍋間における時代ごとの遺跡解説	27 名

(5)分館テーマ展示

分館の展示室において、埋蔵文化財センターがこれまでに発掘調査を行った遺跡について、遺跡ごとに出土遺物を紹介するテーマ展示を年 3 回行った。埋文講座や遺跡発掘成果展等の事業との連携を図って構成した。

(6)出前展示

発掘調査で県内各地から出土した遺物等を各地域で展示し、発掘の成果を公開している。合わせて埋蔵文化財センターの業務内容についての紹介も行っている。

開催期間	名称	場所	内容	観覧者
1 R8.2.8	広瀬西小校区芸能文化まつり	佐土原総合文化センター	埋蔵文化財センターの紹介・遺物展示・体験講座	886名

(7)出前講座

生涯学習団体や学校等からの依頼に応じて、埋蔵文化財センター職員が県内各地に向いて行う出張講座を実施している。それぞれの地域の遺跡や遺物の展示・解説、遺物に触れる体験、埋蔵文化財センターの業務紹介等を行った。令和7年度は37件（総参加者数1,620名）の講座を実施した。

開催日	学校名・機関名	対象	内容	観覧者
1 R7.5.23	宮崎市立恒久小学校 6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験講座	88名
2 R7.6.3	小林市立西小林小学校 6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	35名
3 R7.6.5	日南市立大窪小学校 6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験講座	5名
4 R7.6.11	国富町立木脇小学校 6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験講座	55名
5 R7.6.12	美郷町立西郷義務教育学校 6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験講座	11名
6 R7.6.16	高鍋町立高鍋西小学校 6年生	小学生	分館・宮崎県総合博物館とのオンライン中継（施設紹介）	86名
7 R7.6.17	西都市立三財小・中学校 小学6年生 中学生	小学生 中学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験講座	37名
8 R7.6.23	串間市立福島小学校 6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	73名
9 R7.6.25	川南町立通山小学校 6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	19名
10 R7.6.27	都城市立梅北小学校 全校児童	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験講座	95名
11 R7.7.1	宮崎市立学園木花台小学校 6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	55名
12 R7.7.2	延岡市教育委員会（オンライン学習支援室）	中学生	地域の遺跡紹介・遺物解説	20名
13 R7.7.2	南浦中学校（学びの多様な学校分教室）	中学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験講座	13名
14 R7.7.8	都農町立都農南小学校 6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験活動	58名
15 R7.7.11	綾町立綾中学校 1年生	中学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験活動	78名
16 R7.7.15	日向市立財光寺南小学校 6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験活動	72名
17 R7.7.16	諸塚村立荒谷小学校 全校児童	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・各種体験活動	15名

18	R7.8.4	元気カレッジ しあわせ学園	一般	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	19名
19	R7.8.22	放課後デイサービス リム 小学生～中学生	小・中学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	15名
20	R7.8.23	佐土原地区交流センター	一般	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	7名
21	R7.9.5	延岡市立南浦中学校 全校生徒、地域住民	中学生 一般	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	16名
22	R7.9.24	日之影町教育委員会（高齢大学） （西南戦争関連遺跡調査・活用事業）	一般	西南戦争関連講座 地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	60名
23	R7.9.28	都城市立高崎小学校 4年生、保護者	小学生 一般	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	68名
24	R7.10.2	国富町立木脇中学校 1年生、地域住民	中学生 一般	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	43名
25	R7.10.17	諸塚村立諸塚小学校 全校児童	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	48名
26	R7.10.17	諸塚村立諸塚中学校 1年生	中学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	12名
27	R7.11.4、5	高鍋町立高鍋西小学校 6年生	小学生	地域の地層見学・解説	87名
28	R7.11.21	しんとみ学びフロンティア塾 （西南戦争関連遺跡調査・活用事業）	一般	西南戦争関連講座 地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	46名
29	R7.11.23	延岡市社会教育課(生涯学習フェスタ)	一般	遺物展示・解説・各種体験活動	15名
30	R7.12.6	広瀬西小校区地域づくり推進委員会	一般	遺物展示・解説・各種体験活動	31名
31	R7.12.7	宮崎市立広瀬北小学校 4年生、保護者	小学生 一般	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	69名
32	R7.12.8	都城市立丸野小学校 6年生	小学生	地域の地層見学・解説 地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	18名
33	R8.1.20	宮崎市立ひなた中学校(昼間部) 全校生徒	中学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	23名
34	R8.2.6	宮崎市立生目南中学校 3年生、保護者	中学生 一般	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	73名
35	R8.2.8	広瀬西小学校 4年生 （広瀬西小校区芸能文化まつり）	小学生	石器レプリカづくり	56名
36	R8.2.13	宮崎市立ひなた中学校(夜間部) 全校生徒	中学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	21名
37	R8.3.10	串間市立北方小学校 全校児童	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	78名

(8) 現地説明会、インターンシップ・職場体験の受け入れ

発掘調査中の遺跡を県民の方に見学していただく現地説明会を実施した。

【現地説明会】

	開催日	遺跡名	開催地	内容	対象	参加者
1	R7.12.6	土器田東横穴群	宮崎市	遺跡の概要、遺構・遺物の説明	地域住民	31名

【発掘体験】

	開催日	遺跡名	開催地	内容	対象	参加者
	令和7年度は実施せず	-	-	-	-	-

【インターンシップ】

	期間	場所	内容	対象	参加者
1	R7.8.25～ R7.8.29	埋蔵文化財センター 本館・分館	埋蔵文化財センターの業務体験 展示作業補助業務等	大学生	3名

【職場体験】

	開催日	遺跡名	内容	対象	参加者
1	R7.12.1～ R7.12.2	埋蔵文化財センター 本館	埋蔵文化財センターの業務体験	中学生	4名

(9) 見学・研修等で分館を訪れた団体

	実施日	団体名	内容	人数
1	R7.4.19	宮崎地質研究会	研修	8名
2	R7.5.8	西都市立茶臼原小学校	展示見学・各種体験活動	20名
3	R7.5.9	西都市立穂北小学校	展示見学	48名
4	R7.5.25	宮崎地質研究会	研修	10名
5	R7.5.25	宮崎民俗学会	研修	19名
6	R7.7.12	宮崎考古学会	研修	47名
7	R7.7.26	宮崎地質研究会	研修	11名
8	R7.7.29	キャンドウ to プラス	展示見学・各種体験活動	11名
9	R7.7.30	のぞみ保育園・のぞみ学童クラブ	展示見学・各種体験活動	33名
10	R7.8.7	放課後デイサービス おひさま SUNNY	展示見学・各種体験活動	14名
11	R7.8.18	インターンシップ	展示見学・展示物解説	4名
12	R7.8.26	諸塚村文化財保護調査委員研修	展示見学・展示物解説	6名

13	R7.8.30	宮崎地質研究会	研修	8名
14	R7.9.28	宮崎地質研究会	研修	8名
15	R7.10.4	みやざきの古代史を考える会	展示見学・展示物解説	7名
16	R7.10.10	日南市立酒谷小学校	展示見学	18名
17	R7.10.12	宮崎地質研究会	研修	10名
18	R7.10.29	小林市立西小林小学校	展示見学	29名
19	R7.11.30	宮崎地質研究会	研修	8名
20	R7.12.6	サークル M	展示見学・研修	25名
21	R7.12.7	宮崎大学学芸員養成課程	研修	45名
22	R8.2.10	西都原ボランティア協議会	研修・各種体験活動	20名
23	R8.2.21	宮崎地質研究会	研修	10名

(10)資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には資料調査等に係る館内利用（資料の閲覧・実測等）や館外貸出及び掲載許可申請があり、令和7年度は館内利用19件、館外貸出12件、掲載許可10件であった。

【館内利用】

利用日	遺跡名	利用資料名	利用目的
1 R7.5.2	松元遺跡、井手口遺跡、塚原遺跡	土器	資料調査
2 R7.5.15	八幡遺跡	陶磁器	資料調査
3 R7.5.19	塚原遺跡、塚原遺跡II G・H・I・J地点、阿蘇原上遺跡	土器	資料調査
4 R7.7.16~R7.7.18	国光原遺跡、永牟田第1遺跡、音明寺第2遺跡、山田遺跡、勘大寺遺跡、上新開遺跡、赤木遺跡第8地点、野首第2遺跡、東畦原第1遺跡	石器	資料調査
5 R7.8.4~R7.8.6	尾立遺跡	土器	資料調査
6 R7.8.6~R7.8.8	小並第1遺跡、永牟田第1遺跡、永牟田第2遺跡、唐木戸第3遺跡、野首第1遺跡、東畦原第1遺跡（一次調査）、東畦原第1遺跡（二次調査）、東畦原第1遺跡（三次調査・四次調査）、東畦原第3遺跡	石器	資料調査
7 R7.8.27	竹ノ内遺跡、尾花A遺跡	石製品	資料調査
8 R7.9.8~R7.9.24	尾立遺跡	土器	資料調査
9 R7.9.8~R7.9.12	中ノ迫第1遺跡、中ノ迫第2遺跡、勘大寺遺跡（一次調査）、勘大寺遺跡（二次調査）、野首第2遺跡、野首第2遺跡（二・三次調査）、音明寺第2遺跡、	石器	資料調査

西畦原第2遺跡（二次・三次調査）、高野原遺跡
第5地点、立野第5遺跡、牧内第1遺跡（四次調
査）、牧内第2遺跡

10	R7.10.1~R7.10.2	林遺跡Ⅱ、高鍋城三ノ丸跡、塩見城跡、	土師器、須恵器、陶磁器	資料調査
11	R7.11.1~R7.11.2	赤木遺跡第8地点（一次調査）、赤木遺跡第8地 点（二次調査）、赤木遺跡第8地点（三次調査）	石器	資料調査
12	R7.12.5	白ヶ野第3遺跡B地区、宮田遺跡、上高遺跡	土器、石器	資料調査
13	R7.12.15~R7.12.16	勘大寺遺跡（一次調査）、唐木戸第4遺跡、勘大 寺遺跡（二次調査）、中ノ迫第2遺跡	石器	資料調査
14	R8.1.14	跡江貝塚	動物骨	資料調査
15	R8.2.2~R8.2.5	前ノ田村上第2遺跡（一次調査）、前ノ田村上第 2遺跡（二・三次調査）、北牛牧第5遺跡、堂地西 遺跡、蔵田遺跡	石器	資料調査
16	R8.2.9~R8.2.11	山田遺跡、俵石第1遺跡、木脇遺跡、下屋敷遺跡、 上ノ原遺跡、長園原遺跡	石器	資料調査
17	R8.2.24	長園原遺跡、唐木戸第3遺跡、南学原第1遺跡、 永牟田第2遺跡、北牛牧第5遺跡、西畦原第1遺 跡	土器、石器	資料調査
18	R8.3.26	全国諸遺跡	所蔵書籍	資料調査
19	R8.3.28	尾花A遺跡、木脇遺跡	石器	資料調査

【館外貸出】

期間	遺跡名	貸出資料名	数量	目的	貸出機関名
1 R7.4.1~ R8.3.31	野添遺跡	ササゲ属種子炭化 物、クリ種子炭化物	30	文化交流展示「海の道、 アジアの路」（平常展）に 展示	九州国立博物館
2 R7.4.21~ R7.4.22	学習キット（弥生）		43	大学の講義で使用	南九州大学
3 R7.4.28~ R7.7.18	都城（鶴丸城）跡、畑 田遺跡	青花碗、土師器坏	11	令和7年度都城市歴史民 俗資料館企画展「都城跡 ～市名の由来となった中 世城郭～」に展示	都城市 教育委員会
4 R7.5.12~ R7.5.13	学習キット（縄文）		100	大学の講義で使用	南九州大学
5 R7.5.26~ R7.5.27	学習キット（縄文）		43	大学の講義で使用	南九州大学
6 R7.6.12~ R7.12.26	塚原遺跡	縄文土器（草創期） 赤彩土器	2	「発掘された日本列島 2025」展及び「国民文化 祭-ピース佐世保展-」で 展示活用	佐世保市 教育委員会
7 R7.6.16~ R7.6.17	学習キット（古墳）		15	大学の講義で使用	南九州大学
8 R7.6.18~ R7.6.27	地域別遺物解説セット		20	教科学習	新富町立 富田小学校

9	R7.6.23~ R7.6.25	学習キット（縄文）	43	教科学習	宮崎市立 大塚小学校	
10	R7.7.24~ R7.7.31	東ノ原Ⅰ号地下式横 穴墓、祇園原地区遺 跡、迫内遺跡、山崎 下ノ原遺跡	須恵器（坏身）	10	資料活用	文化財課
11	R7.10.6~ R7.12.12	迫内遺跡、本城跡、 八幡遺跡、野首第Ⅰ 遺跡、山崎上ノ原第 2遺跡Ⅱ、赤坂遺 跡、飢肥城下町遺 跡、山崎上ノ原第Ⅰ 遺跡	瓶子、坏、皿、大 甕、瓶、壺、ハン ウ、提瓶、甌、長頸 壺、徳利、移動式カ マド	21	令和7年度秋季特別展 「焼酎のすゝめ」における展 示	県総合博物館
12	R8.3.5~ R8.5.31	長園原遺跡、唐木戸 第3遺跡、南学原第 Ⅰ遺跡、永牟田第2 遺跡、北牛牧第5遺 跡、西畦原第Ⅰ遺跡	ナイフ形石器、細石 刃核、弥生土器	35	企画展「学史に名を刻む ～宮崎の標識（ひょうし き）遺跡～」における展 示	西都原考古博物 館

【刊行物等掲載（写真等資料提供）】

申請日	資料名	掲載刊行物等	依頼者		
1	R7.4.1	都城志布志道路 （末吉 IC～金御 岳 IC 間）開通記 念イベント	会場記録写真	梅北小学校校舎内掲示物	都城市立 梅北小学校
2	R7.4.23	都城（鶴丸城）跡 畑田遺跡	調査区遠景、トレンチ 調査区全景	令和7年度都城市歴史 民俗資料館企画展「都城 跡～市名の由来となっ た中世城郭～」に展示	都城市教育委員会
3	R7.4.25	前田遺跡 町屋敷遺跡 塚原遺跡	遺跡近景、IVw 区溝大足出土状況、大 足出土状況、起耕痕 巻頭写真、SEI・SOI 検出状況、D 区 Ⅱ-Ⅲ層検出畦畔 写真図版Ⅰ上・下	講座の映像資料としての使用 （宮崎県総合博物館講座）	個人
4	R7.5.15	竹ノ内遺跡	石製品岩偶 表裏面および背景色 （白・黒）の写真	書籍『1000の縄文』（仮題） 縄文 ZIN 編集部〔著書〕掲載 のため	株式会社 国書刊行会
5	R7.9.1	野首第Ⅰ遺跡 山崎上ノ原第Ⅰ 遺跡	玄室左壁から奥壁、周溝遺物出土状 況 移動式カマド	令和7年度秋季特別展 「焼酎のすゝめ」における関 係印刷物への掲載	県総合博物館
6	R7.11.6	八幡遺跡	宋胡録写唾壺	鶴見大学文化財学雑誌 22 号 への掲載のため	個人

7	R7.12.10	宮崎県埋蔵文化財センター分館 内掲示物	埋文センターの仕事	高等学校向け問題集への掲載のため	東京法令出版株式会社
8	R7.12.24	尾立遺跡	尾立遺跡出土の縄文土器（宮崎大学及び南九州大学旧蔵資料）	同志社大学考古学研究室主催の木曜定例研究会の発表資料への掲載のため	個人
9	R7.12.26	山田遺跡	石器（No.56/31頁、No.115・117/48頁）	学術論文への掲載のため	個人
		野首第2遺跡	石器（No.8・9/32頁、No.58/44頁）		
		春日地区遺跡第2地点	石器（No.85/51頁）		
		勘大寺遺跡	石器（No.284/64頁、No.545/74頁）		
		前ノ田村上第2遺跡	石器（No.256・267/53頁、No.337・347・355・356・363/58頁）		
10	R8.2.16	西南戦争関連遺跡総合調査成果報告書	鳥川台場群4号	戦争遺跡保存全国ネットワーク編『決定版 日本の戦争遺跡』	株式会社大月書店

(11)職員派遣

市町村の教育委員会等に埋蔵文化財等の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。

	派遣期日	用務名	依頼者	派遣職員
1	R7.5.12	祇園滝地質調査協力	木城町地域政策課	松田清孝
2	R7.6.5	宮崎市史編纂関連用務	宮崎市教育委員会	藤木聡
3	R7.7.3	宮崎市史編纂関連用務	宮崎市教育委員会	藤木聡
4	R7.7.11	延岡市史編纂関連用務	延岡市教育委員会	藤木聡
5	R7.8.19	延岡市史編纂関連用務	延岡市教育委員会	藤木聡 堀田孝博
6	R7.9.5	延岡市史編纂関連用務	延岡市教育委員会	藤木聡 堀田孝博
7	R7.9.24	宮崎市史編纂関連用務	宮崎市教育委員会	藤木聡
8	R7.10.22	宮崎市史編纂関連用務	宮崎市教育委員会	藤木聡
9	R7.10.22	八幡遺跡出土遺物整理	都城市教育委員会	堀田孝博
10	R7.10.24	犬王遺跡調査指導	都城市教育委員会	藤木聡 留野優兵
11	R7.11.6	宮崎市史編纂関連用務	宮崎市教育委員会	藤木聡
12	R7.11.26~27	宮崎市史編纂関連用務	宮崎市教育委員会	藤木聡
13	R7.12.15~16	延岡市史編纂関連用務	延岡市教育委員会	藤木聡

14	R8.2.15~16	延岡市史編纂関連用務	延岡市教育委員会	藤木聡 堀田孝博
15	R8.2.25~26	早岐瀬戸遺跡出土品に関する整理指導	長崎県埋蔵文化財センター	藤木聡
16	R8.3.20	軽便鉄道イベント関連用務	宮崎市教育委員会	松田清孝
17	R8.3.24	延岡市史編纂関連用務	延岡市教育委員会	藤木聡

(12)埋蔵文化財担当専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修会を実施している。令和7年度は、陶磁器に関する整理作業や報告書作成について（分類、実測図作成、写真撮影等）をテーマとして講義・実習を行い、職員間の情報共有や今後の展開に資するものとした。

実施日	場所	講師	内容	参加者
1 R7.9.26	埋蔵文化財センター本館	宮崎県教育庁文化財課 今塩屋毅行氏 埋蔵文化財センター 堀田孝博	「陶磁器に関する整理作業や報告書作成について（分類、実測図作成、写真撮影等）」	31名

(13)広報出版物

埋蔵文化財センターの「年間行事案内」及び「埋文通信」の発行を行うとともに、移動展示会、施設公開等についてもポスターやチラシ、資料等の作成を行った。

発行年・月	広報出版物
1 R7.5	「宮崎県埋蔵文化財センター 年報」第29号 令和6(2024)年度
2 R8.3	令和8年度宮崎県埋蔵文化財センター年間行事案内「イベントカレンダー」
3 R8.3	宮崎県埋蔵文化財センター通信「ひむか」28号

(14)研究紀要

職員の研究活動をWEB上で公開している。令和7年度は11本の報告を掲載した。

宮崎県埋蔵文化財センター研究紀要第11集

【論文・研究ノート】

岩土原遺跡について-南九州短期大学旧蔵資料の土器を中心として-

栗畑 光博・谷口 武範・藤木 聡

串間市唐人町遺跡の検討

吉本 正典

宮崎県内出土の底部穿孔土器について

松林 豊樹

宮崎県域出土の子持勾玉

小山 輝晃

宮崎県域における古代～近世の井戸集成と構造・変遷に関する考古学的検討 藤木 聡
 宮崎平野中部の段丘地形の分布状況-遺跡の位置との関係性の研究に向けての取組み-
 松田 清孝

【資料集成・紹介】

諸塚村民俗資料館所蔵の石斧類	留野 優兵
野首第2遺跡（高鍋町）出土の異形石器の報告	木村 哲弥
宮ノ前第2遺跡出土の獣形勾玉について	川嶋 信平
宮崎県東臼杵郡諸塚村で採集された河内型羽釜	堀田 孝博
日南市南郷町における古代から中世の遺物について	池上 愛菜

(15)ホームページ・SNS

施設公開、埋蔵文化財講座、成果展、出前講座等の教育普及事業の広報を、ホームページやSNSを通じて行った。また、整理作業員や発掘作業員等の会計年度任用職員の募集や資料の貸出、発掘調査の状況等を発信し、ホームページやSNSの活用を推進した。

3 会議・職員研修

(1)各種会議等への参加

全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会などの各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

日程	内容	開催地	出席者
1 R7.5.29～30	令和7年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	鳥取県鳥取市	松林豊樹
2 R7.5.29～30	令和7年度第1回埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会	福岡県福岡市	留野優兵
3 R7.6.6	令和7年度宮崎県博物館等協議会総会・第1回研修会	宮崎県宮崎市	筒井克彦
4 R7.10.5～10	奈良文化財研究所専門職員研修	奈良県奈良市ほか	池上愛菜
5 R7.10.30	令和7年度宮崎県博物館等協議会第2回研修会	宮崎県西都市	後藤清隆
6 R7.12.4～5	令和7年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	宮崎県宮崎市	飯田博之・松林豊樹・日高 広人・甲斐貴充・平井祥 蔵・藤木聡・吉田博喜・木 村哲弥・留野優兵・加藤真 理子・池上愛菜
7 R8.1.28～29	令和7年度埋蔵文化財担当職員等講習会	オンライン参加	飯田博之・松林豊樹・甲斐 貴充・藤木聡
8 R8.2.5～6	令和7年度第2回埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会	熊本県熊本市	藤木聡・留野優兵

(2)共同研究への参加

所外の研究者や機関等が主催する共同研究へ職員が参加するものである。

日程	内容	参加者
令和7年度は該当者なし	-	-

(3)先進地視察

訪問日	訪問先	訪問者	目的
1 R8.2.26~27	九州国立博物館 福岡市博物館 福岡市埋蔵文化財センター	平井祥蔵 後藤清隆	アウトリーチ活動に関する事例調査

(4)労働安全衛生関係の講習会等への参加

発掘調査現場及び埋蔵文化財センター内での安全衛生の増進を図るため、以下の各講習会等へ参加している。

日程	内容	参加者
1 R7.4.10~11	安全衛生推進者養成講習	今村陽一・吉田博喜・池上愛菜
2 R7.5.9	救急救命講座 (心肺蘇生法・AED操作法・応急手当)	加塩美昭・原田佳奈子・前田和穂・小川優・永野光希子・藤木聡・松田清孝・池上愛菜・鈴木律子・甲斐貴充・加藤真理子・吉田博喜・堀田孝博・今村陽一・日高広人・後藤清隆・筒井克彦・貴嶋活実
3 R7.5.20	足場の組立等特別教育	吉田博喜・池上愛菜
4 R7.6.24	熱中症予防指導員・管理者研修	今村陽一・吉田博喜・池上愛菜
5 R7.6.25~27	第一種衛生管理者受験準備講習	小川雄太郎
6 R7.7.9	刈払機取扱作業安全衛生教育	今村陽一・吉田博喜

IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

平成8年3月29日教育委員会規則第5号改正

平成12年1月20日教育委員会規則第1号
平成12年3月31日教育委員会規則第8号
平成12年12月18日教育委員会規則第21号
平成18年3月30日教育委員会規則第9号
平成19年3月30日教育委員会規則第3号
平成20年3月31日教育委員会規則第6号
平成26年3月27日教育委員会規則第2号
令和2年3月30日教育委員会規則第9号
令和5年3月30日教育委員会規則第6号
令和6年4月1日教育委員会規則第3号
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則をここに公布する。

宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館(以下「埋蔵文化財センター」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第2条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
- (2) 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
- (3) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
- (4) 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び啓発に関すること。
- (5) 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
- (6) その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

(組織)

第3条 埋蔵文化財センターに、次の課を置く。

総務課

調査課

普及資料課

(分掌事務)

第4条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (2) 予算の執行及び決算に関すること。
- (3) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (4) 公印の管守に関すること。
- (5) 施設及び設備の管理に関すること。
- (6) その他他の課の所管に属さない事項に関すること。

調査課

- (1) 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (2) 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (3) 重要遺跡の発掘調査及び保護に関すること。
- (4) 前3号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。

(5) 第1号から第3号までの発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

普及資料課

(1) 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。

(2) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の使用の整備に関すること。

(3) 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸出しに関すること。

(4) 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
所長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副所長 (2人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
専任主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする複雑な事務に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。

3 第1項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は、次のとおりとする。

第1順位 統括の副所長

第2順位 業務担当の副所長

4 第1項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
副参事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専任主幹	上司の命を受けて、専門知識及び経験を必要とする埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専任副主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とするその相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専任主査	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とするその専門的業務に従事する。
主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

5 第1項及び前項に規定する職の他、埋蔵文化財センターに、必要に応じ、専門主幹及び専門主事を置く。

6 専門主幹は、上司の命を受けて、専門知識及び経験を必要とする埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。

7 専門主事は、上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 宮崎県埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休館日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区分	休館日
宮崎県埋蔵文化財センター	1 土曜日及び日曜日 2 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。） 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで（休日を除く。） 4 特別整理期間（あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。）
宮崎県埋蔵文化財センター分館	1 月曜日（休日に当たるときを除く。） 2 休日の翌日（土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。） 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4 特別整理期間

2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項に定める休館日に開館し、又は同項に定める休館日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。
- (4) 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。
- (5) 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用使用とする者は、資料等館内利用承認申請書（別記様式第1号）を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第11条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館及び同法第31条第1項の規定により文部科学大臣、都道府県教育委員会又は指定都市の教育委員会が指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第21条に規定する公民館
- (3) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
- (4) 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
- (5) 市町村立の歴史民俗資料館等で宮崎県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が定めるもの
- (6) その他教育長が適当と認めるもの

2 資料等の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても当該資料等の返還を求めることができる。

3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書（別記様式第2号）を所長に提出し、所長の承認を受けなければならない。

4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。

- (1) 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
- (2) 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
- (3) 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁償)

第12条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第13条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附則

(施行期日)

1 この規則は、平成8年4月1日から施行する。

(宮崎県総合博物館管理運営規則の一部改正)

2 宮崎県総合博物館管理運営規則(昭和46年宮崎県教育委員会規則第4号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附則(平成12年1月20日教育委員会規則第1号)

この規則は、平成12年1月20日から施行する。

附則(平成12年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附則(平成12年12月18日教育委員会規則第21号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成13年1月6日から施行する。

附則(平成18年3月30日教育委員会規則第9号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附則(平成19年3月30日教育委員会規則第3号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則(平成20年3月31日教育委員会規則第6号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則(平成26年3月27日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附則(令和2年3月30日教育委員会規則第9号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附則(令和5年3月30日教育委員会規則第6号)

(施行期日)

1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。

(用紙に関する経過措置)

2 この規則の施行の際現に存する第1条の規定による改正前の博物館の登録に関する規則及び第4条の規定による改正前の宮崎県埋蔵文化財センター管理規則の規定に定める様式による用紙は、当分の間、所要の事項を適宜補正して使用することができる。

附則(令和6年4月1日教育委員会規則第3号)

この規則は、公布の日から施行する。

別記

様式第1号

(第10条関係)

様式第2号

(第11条関係)

別記

様式第 1 号(第 10 条関係)

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第 10 条の規定により、
次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
利用希望日時			
利用の方法			
撮影の有無			
備 考			

別記

様式第 2 号(第 11 条関係)

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館外貸出を受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第 11 条第 3 項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで		

案内図

宮崎県埋蔵文化財センター

所在地 〒880-0212

宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 4019

TEL 0985-36-1171(代表・総務課)

0985-36-1172(調査課)

FAX 0985-72-0660

ホームページ

<https://www.miyazaki-archive.jp/maibun/>

E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関 :JR 佐土原駅から車で10分

宮崎市街地から高鍋町方面宮崎交通バス

御殿下バス停 から徒歩で8分



宮崎県埋蔵文化財センター分館

所在地 〒880-0053

宮崎県宮崎市神宮2丁目4-4

TEL 0985-21-1600(普及資料課)

FAX 0985-26-2634

観覧時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日 年末年始(12月28日～1月4日)

特別整理期間

入館料 無料

E-mail maibun-fukyu@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関 :宮交バス「博物館前」徒歩4分

JR「宮崎神宮」徒歩9分





宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地

TEL 0985-36-1171・1172 FAX 0985-72-0660

E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp